

2021 年度第 2 回東海大学医学部付属病院医療安全管理業務監査委員会議事録

1. 開催日時：2022 年 3 月 8 日（火）14:00～15:40
2. 開催形式：Web を用いたオンライン開催
(東海大学伊勢原校舎 1 号館 2 階第 1 会議室)
3. 出席者：
【監査委員】三木 委員長、大塚 委員、安田 委員、千野 委員
【病 院 側】渡辺 病院長、大上 副院長/医療監査部長、
川又 診療技術部長/医療機器安全管理責任者、鈴木 薬剤部長、横田 看護部長、
大澤 医療監査部次長、古屋 医療監査部次長/医療安全専従医師、
山野 医療監査部付医師、水元 医療安全対策課長/専従医療安全管理者、
上村 医療安全調査課長、折田 医療安全対策課/専従医療安全管理者、
平井 医療安全対策課/専従医療安全管理者、林 医薬品安全管理室/医療安全専従薬剤師
清水 医薬品安全管理室/医療安全専従薬剤師、深町 医療機器安全管理室/医療安全専任技師
中村 経営企画室課長
高木・飯塚・石坂 医療安全対策課/事務局
4. 配布資料：1) 監査委員会次第 2) 医療安全管理業務の実施状況
5. 監査概要
 - 1) 出席者紹介
 - 2) 監査委員会の成立
監査委員会規程第 5 条第 3 項により、委員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立した。
 - 3) 医療安全管理業務の実施状況について
 - ①医師のレポート提出率向上に向けた取り組み、画像レポート・病理報告の既読・未読対応、非常勤医師への医療安全教育の実施、及び高難度新規医療技術の申請状況について報告。
 - ②インシデント/アクシデントレポート経時的分析による 2021 年度上半期の分析結果、レポート・事例検討と安全対策について報告。
 - ③薬剤関連のインシデント・アクシデントレポートのまとめ、内服薬の処方切れ、処方忘れ、指示確認不足から発生する未投薬防止、ヒューマリン R 過剰投与事例、外来処方の疑義照会事例、未承認薬・適応外使用薬の使用について報告。
 - ④2021 年度上半期における医療安全管理業務の実施状況について、インシデントレポート事象の対応について報告。
6. 監査結果
 - 1) モニタの問題やインスリン投与に専用シリンジを使用せずに注射用のシリンジを使用する等、管理をする上で、また起きてくる問題が色々あると思うが、引き続き管理の努力をしていただきたい。
 - 2) レポート既読・未読システムの運用開始や疑義照会に対するレポート提出依頼、テクニカルエラーを減らすこと等、難しい問題に少しずつ取り組んでおり、進歩が見られると感じている。
 - 3) レポートの提出件数も医師を中心に増加しており、病院の医療安全の取り組みが周知されていると理解する。
 - 4) 全体的にレポート提出件数が増加したことや内容が充実したことで、それぞれ看護師や医師、その他専門職の方々等の医療安全管理に対する意識の高まりが感じられる。病院利用者の健康保持や安全確保のため、今後も意識啓発を通じた、医療安全管理業務の継続した取り組みをお願いしたい。

8. 総 評

特別な重大事案はないと考える。基本的に各部門での医療安全に対する進化・発展していることが確認できた。しかし、基本が抜けてしまうような事案が少しずつ増加、あるいは基本に戻るといふ所作に関する事案が、僅かに増えているように感じる。今までの継続している中で、新しいことも大切であるが、当たり前のことを継続させることが重要で、今は正念場であると思う。コロナ対応で多忙だと思うが、前に進む時に後ろから突き付けられることがないように、更なる発展を願う。いずれにしても前進していることは事実であり、数多い病棟スタッフの中で、今後更に気持ちを引き締めていただきたい。

9. そ の 他 :

- 1) 2022 年度第 1 回東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会の監査項目について
 - ・課題等があればメールにて、事務局まで連絡をお願いしたい。
 - ・施設巡視の実施等については、コロナの状況を見ながら開催方法の検討を行う。
- 2) 第 1 回の開催時期
 - ・2022 年 9 月中旬～10 月上旬を目途に開催予定。

以 上